

稻敷市

ボランティア通信

つながる手と手



第54号

令和2年8月発行

ただ今おもちゃの治療中

おもちゃ病院



稻敷市おもちゃ病院



目次

表紙・P2 おもちゃ病院 開院中！！

ボランティアって何だろう？ ボランティアの”4つ”の原則

P3 高齢者の孤独に寄り添う活動『傾聴ボランティアうさぎさん』

公益財団法人大和証券福祉財団 「令和2年度(第27回)ボランティア活動助成」

P4 助け合いの『糸』 災害義援金募集のお知らせ

災害ボランティアへの心構え

発行 社会福祉法人 稲敷市社会福祉協議会 稲敷市ボランティアセンター
〒300-0504 茨城県稻敷市江戸崎甲1992番地

☎ 029-892-5711 FAX 029-892-5922

この広報誌は、みなさまから寄せられた、共同募金を活用しボランティア活動を広めるために発行しています。





おもちゃ病院 開院中!! ~子供たちの物を大切にする心を育む~



おもちゃ病院は、子どもたちが遊ぶおもちゃが壊れた際、すぐに捨てて新しいおもちゃを買うのではなく、おもちゃを再生して子どもの物を大切にする心を育む活動をしているボランティアグループです。

「音が出なくなってしまった」「動かない」だけではなく、「モデルカーのタイヤが取れてしまった」「人形の足が取れてしまった」など、おもちゃのことならまずはご相談ください。

稲敷市おもちゃ病院は、

毎月 第1日曜日 午後1時から午後3時まで

ショッピングセンターパンプ 1F まちかど情報センター

第2土曜日・第4日曜日 午後1時から午後4時まで

フードスクエア カスミ新利根店 にて開院しています。

(フードスクエア カスミ新利根店での開院は現在休止しています。)

※おもちゃ病院は基本無料で実施していますが、治療の際に部品交換があった場合は部品代をいただくことがあります。



上記日程の都合が悪い方は、8時30分～17時15分（土日祝除く）まで稲敷市社会福祉協議会（江戸崎甲1992）でもおもちゃのお預かりをしています。

※コロナウイルスの感染拡大に伴い、店舗でのおもちゃ病院を中止することがあります。

お問合せ 稲敷市ボランティアセンター ☎ 029-892-5711

ボランティアって何だろう？ ボランティアの“4つ”の原則

ボランティア活動は自分から進んで福祉支援や演芸発表など取り組んでいく活動です。

ボランティア活動を行ううえで、大切にして欲しいポイントを「ボランティアの4原則」と言います。

自主性

誰かに強要されたり、義務として行うものではなく、自分の意志で行いましょう。

自分自身の「やってみよう」という気持ちを大切にすることから、ボランティア活動は始まります。

社会性

誰もがいきいきと豊かに暮らせるよう、お互いに助け合い支え合い、学び合いましょう。

より住みやすいまちになるよう、多くの人と協力しながら力を合わせて行動することが大切です。

無償性

金銭的な報酬を目的とせず、出会いや発見、喜びといった精神的な報酬を得る活動であり、個人的な利益や報酬を第一の目的にした活動ではありません。

創造性

これからの社会で何が必要なのか、何をすることが出来るか考え、新たな活動の発展やより良い活動が行えるよう工夫・改善を行いボランティア活動を広げていきましょう。

高齢者の孤独に寄り添う活動『傾聴ボランティアうさぎさん』

傾聴ボランティアは「日中は家族が仕事に行ってしまう」「近所に同世代がないため話をする人がいない」「なかなか外出する機会がない」などの理由から家で一人になりがちな高齢者のお宅に訪問してお話をすることで、心のケアや孤独感の解消をする活動です。

人は、話を聞いてもらえると心が安らぎ、ストレスの発散にもつながります。テレビやラジオでは得られない人と人とのつながりを感じてもらいたいと活動しています。

傾聴ボランティアうさぎさんでは、一緒に活動していただけるボランティアさんを募集しています。

ボランティアを始めようとしている方、時間が出来て何かを始めようとしている方など、体験加入も行っていますので、お気軽にお問い合わせを。



お問合せ 稲敷市ボランティアセンター ☎ 029-892-5711

公益財団法人大和証券福祉財団 「令和2年度（第27回）ボランティア活動助成」

高齢者、障がい児者、子どもへの支援や地震・豪雨等による大規模自然災害の支援を目的とした活動を対象とした助成事業です。

- | | |
|-----------------|--|
| 1. 対象となる活動 | ①高齢者、障がい児者、子どもへの支援活動及びその他、社会的意義の高いボランティア活動
②地震・豪雨等による大規模自然災害の被災者支援活動

【助成対象経費】
「交通費」「備品」「消耗品費」「通信費」「会場費」「制作費」「謝金」「その他」
※「記念事業・記念誌の発行」「他のボランティア団体への助成」「団体メンバーへの謝金」「
「人件費・光熱費等の運営費」は助成の対象外となります。 |
| 2. 応募資格 | ボランティア活動を行っているメンバーが5名以上で、かつ営利を目的としない団体 |
| 3. 助成金額 | 上限30万円（1団体あたり） |
| 4. 応募期間 | 9月15日（火）まで（当日消印有効） |
| 5. 助成対象期間 | 令和3年1月1日（金）から1年間 |
| 6. 応募方法 | 所定の「申請書」を大和証券福祉財団事務局宛てに郵送ください。
申請団体の活動について、 <u>全国の社会福祉協議会</u> 、 <u>行政</u> 、又は <u>全国の共同募金会</u> の「窓口担当者」の方から、活動に関するコメントをいただいてください。
※申請書は、当財団のホームページからダウンロードできます。
ホームページ http://www.daiwa-grp.jp/dsf/grant/ |
| 7. 送付先
問い合わせ | 〒104-0031
東京都中央区京橋1-2-1 大和八重洲ビル
公益財団法人 大和証券福祉財団事務局
TEL：03-5555-4640 FAX：03-5202-2014 |

ボランティア募集情報などをいち早くお届け！！（ボランティア情報配信システム）

ボランティアセンターでは、市内のボランティア活動がより活発になるようボランティア募集情報や、民間助成金情報、ボランティアに関する研修、イベントなどを速やかにお届けしています。

どなたでも登録可能です。

(パソコン登録) http://www.inashiki-shakyo.or.jp/mail_service/

(携帯電話登録) http://www.inashiki-shakyo.or.jp/mobile/mail_service/

〈お問い合わせ〉 稲敷市ボランティアセンター ☎ 029-892-5711



助け合いの「絆」 災害義援金募集のお知らせ

令和2年7月、九州・中部地方を中心に発生した集中豪雨により、各地で水害が発生しました。共同募金会では、一日も早い災害復興へ向けた義援金の募集を行っています。昨年発生した大雨災害や地震災害についても引き続き義援金を募集しておりますので、ご協力をお願いいたします。

【募集中の災害義援金】

令和2年7月豪雨災害義援金	………	令和2年12月28日（月）まで
令和元年台風第19号災害義援金	………	令和3年3月31日（水）まで
平成30年7月豪雨災害義援金	………	令和3年6月30日（水）まで
平成28年熊本地震義援金	………	令和3年3月31日（水）まで

義援金は、稻敷市社会福祉協議会で受付しております。ご協力いただいた義援金は、被災都道府県の「義援金配分委員会」で取りまとめ、現地の被災状況をもとに同委員会が公正に配分を行います。



災害ボランティアへの心構え

現在コロナウイルス感染予防のため、他県の災害ボランティアの募集は行われていません。

今後、近隣で災害が発生した際に活動が出来るよう、災害ボランティアについて確認を行いましょう。

○被災地の状況や情報をよく確認のうえ参加するようにしてください

災害ボランティア活動は、個人個人の自由な意思に基づいた活動であることが原則です。しかし、新型コロナウイルス感染が懸念されている現在の状況下では、災害ボランティア活動を行うことで感染を広めてしまう恐れがあります。



そのため、災害における今後のボランティア活動については、県及び被災市町村の意向に沿った活動をしなければなりません。

被災地の状況や情報をホームページ等でよく確認のうえ参加するようにしてください。



○災害ボランティア活動での服装や持ち物は？

事前の準備や用意する物は、災害の種類や地域などによっても異なります。ケガや病気に注意した動きやすい服装で出向くことが基本です。

また、この季節の活動は熱中症にも気を付けなければなりません。

【最低限準備した方が良い物】

- ・長袖、長ズボン（着替えもあると◎）
- ・長靴
- ・帽子又はヘルメット
- ・マスク
- ・ゴム手袋、軍手
- ・タオル
- ・雨具
- ・貴重品
- ・ミニ救急セット
- ・食料
- ・自分の飲み物
- ・ウエストポーチ、ミニリュック（貴重品を入れるよう）

○災害ボランティアで注意することは？

災害ボランティアはたくさんの方が支援にいらっしゃいます。下記のことについて活動を行いましょう。

＜災害ボランティア活動の注意事項＞

- ・コロナウイルスの感染拡大に伴い、マスクの着用、手指の消毒、自身の体調管理をしっかりと行いましょう。
- ・ボランティア活動は日々変化します。事前に最新の情報を調べてから活動に参加しましょう。
- ・ボランティア活動中に知り得た情報は、秘密厳守です。個人情報等ネットや他人に漏らしてはいけません。
- ・事前にボランティア保険の加入を行いましょう。近隣の社会福祉協議会で手続きを行うことが出来ますので、被災地での手続きの軽減をしましょう。

